

2025 年大阪・関西万博推進本部

《第 13 回議事録》

■日 時：令和 7 年 4 月 8 日（火曜日） 12 時 10 分～13 時 10 分

■場 所：大阪府咲洲庁舎 41 階会議室

■出席者：出席者名簿のとおり

1 会期中の各専門部会の主な取組み

（彌園万博推進局長）

皆様お待たせいたしました。ただいまから 2025 年大阪・関西万博推進本部会議の第 13 回会議を開催させていただきます。万博推進局の彌園でございます。よろしくお願い申し上げます。

いよいよあと 5 日で万博が開幕するということでございまして、まさにここまで来たなというふうな感じですが、これにつきましては皆様のご支援ご協力あつてのものであると思っております。改めまして深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。これからが本番でございます。皆様方におかれましては、会期中におきましても会場内外で様々な取組みを展開いただくことになっておりますけれども、引き続きお力添えをどうぞよろしくお願いいたしまして、一緒になってですね、万博を盛り上げていただければというふうに思いますので、どうぞ引き続きよろしくお願い申し上げます。

（志村万博推進局企画部長）

それでは次第に従いまして、議事を進めさせていただきます。司会は万博推進局志村が務めさせていただきます。本日の大阪府・大阪市からの出席者についてはお手元にあります、出席者名簿をご確認ください。また本日は、2025 年日本国際博覧会協会の高科副事務総長にもご出席いただいておりますのでご紹介させていただきます。

まず初めに資料 1 の会期中の各専門部会の主な取組みについて、部会長よりご説明させていただきます。本日は時間の関係もございしますので、特に会期中の万博運営等に関係します、危機管理、医療衛生、産業振興、交通対策、環境の 5 つの部会よりご説明をいただきます。

各専門部会長に置かれましては、大変恐れ入りますが、お時間の都合上、3 分程度で説明をお願いいたします。ご質問につきましては、すべての議題の説明の後にお願いいたします。それでは危機管理部会から松井危機管理監をお願いいたします。

(松井危機管理監)

危機管理部会部会長の松井でございます。危機管理部会ですが 2 ページをご覧くださいだけでもでしょうか。本部会ではこれまで関係部局・機関と連携いたしまして安全・安心な万博開催のための危機管理体制を構築してきましたので、その内容についてご説明いたします。(1) 万博会場との連絡調整では、平時から緊密な情報連絡体制を構築するとともに、大規模災害の発生に備え万博会場内に大阪府・大阪市の危機管理室の職員を現地連絡調整員(リエゾン)として派遣し、災害発生時の迅速かつ正確な情報の収集・共有を実施します。(2) 警備体制では、約 250 人の会場警察隊が交代制で会場内に 24 時間常駐するとともに民間警備員と連携し、会場内や周辺で事件や事故が発生した際の対応や要人警護、雑踏警備等を実施します。(3) 消防防災体制では 4 月 1 日から特別警戒期間とし大阪市消防局に大阪・関西万博消防対策推進本部を設置するとともに会場内の万博消防センターに消防車や救急車等を常駐させています。(4) 災害時の医療体制では災害拠点病院、災害医療協力病院等における患者受け入れ、DMAT 等の医療救護班の派遣や大阪府ドクターヘリの運用等安全・安心な万博の開催のための災害医療体制を整備しております。2 ページご覧ください(5) 災害時の備えの 1. 関係機関との連携体制の構築では、各種訓練の実施により関係機関との災害発生時における緊密な連携体制を構築しております。資料には昨年 10 月以降、主だった訓練の実績を記載させていただいております。資料には記載ございませんが、その他、開催期間中、大阪市建設局が夢洲周辺に拠点をおき、24 時間体制で周辺道路の監視を強化するとともに災害時には大阪港湾局が近畿地方整備局へ協力を要請し、早期の航路啓開に務めることとしております。続いて 2. 帰宅困難者への対策について、会場周辺では協会が配備した 60 万食に加えまして、大阪府市が 30 万食を会場内に追加配備するとともに夢洲、咲洲、舞洲におきまして 8 箇所の会場外一時滞在施設を確保しております。また、ターミナル駅周辺では災害時に帰宅困難者が駅周辺に滞留することを想定し、一時滞在施設の確保や備蓄支援等を進めております。(6) の防災情報の発信では来阪者に広く防災情報を発信するために大阪防災アプリと大阪観光局アプリ「DiscoverOsaka」が連携して同内容の防災情報をプッシュ通知で配信してまいります。説明は以上でございますが、開催期間中は関係機関と密に連携し、安全・安心な万博の開催に万全を期してまいりたいと考えております。以上です。

(志村万博推進局企画部長)

続きまして、医療衛生部会から西野健康医療部長よろしくお願いします。

(西野健康医療部長)

医療衛生部会はスライドの4と5ページでございます。感染症や衛生対策の救急医療体制の整備につきまして関係機関と連携して検討を進めてきたところであります。大きく5点についてご説明を申し上げます。まず(1)の感染症対策の強化につきましては、本年1月14日に府市それから大安研、国立感染症研で構成をいたします、大阪・関西万博感染症情報解析センターの運用を開始いたしました。国内外の感染症情報を幅広く集約し、リスクを評価の上、関係機関へフィードバックすることや府民等への情報発信を行い、府内の感染症対策の向上を図ってまいります。次に(2)の救急医療体制の整備につきましては、万博会場からの患者の搬送ということで、積極的な受け入れを行っていただく医療機関を万博協力病院ということで大阪市内の2次救急医療機関の中から66病院を選定いたしまして、協定を締結したところでございます。円滑な転院搬送を行うということで医療の迅速かつ適切な運営をしていきたいと考えております。次にスライドの5ページでございます。(3)の衛生対策の実施につきましては本年2月2日から会場内におきまして、会場衛生監視センターの運用を開始いたしました。万博会場における食品営業施設等の許可届出の受付を始め、飲食店等の監視指導、食中毒発生時の対応等衛生対策を実施してまいります。(4)外国人患者受け入れ体制の整備につきましては、外国人患者受け入れ医療機関を176機関まで拡充することや、外国人向けの医療情報案内でありますおおさかメディカルネット、これを8か国語で運用するほか、日本での医療のかかり方等につきまして啓発動画を作成しておりところであります。最後に(5)の毒劇物適正管理につきましてはその保管管理の適正化を図るため、講習会や監視指導を行うほか、テロ発生時に必要な解毒剤の確保供給体制を整備しているところでございます。ご説明は以上でございます。

(志村万博推進局企画部長)

産業振興部会から馬場商工労働部長より申し上げます。

(馬場商工労働部長)

産業振興部会では万博を契機とした社会実装の実現と万博を活用したビジネス機会の創出拡大の二本柱で取り組みを進めてきました。1つ目の万博を契機とした社会実装の実現につきましては、未来社会の実験場である万博開催時を1つの到達点として、国内外の来場者に対し、革新的な技術の展示、発信できるように準備を行ってまいりました。会期中には空飛ぶクルマのデモ飛行やカーボンニュートルをはじめとす

る先進的技術の会場内外での実装や展示、スタートアップでは世界中 4,000 人が集まる GSE に合わせてイベントを府市関係機関で実施し、スタートアップ拠点としての旗を国内外に示すとともに、関係者との縁を万博につなげていくべく取り組みを行ってまいります。また、未来医療国際拠点である中之島クロスはすでに海外を含む多数の視察のご依頼をいただいております、万博後の再生医療の産業化とスタートアップの育成拠点としてのプレゼンスを確実ににつなげてまいります。ほか、健都万博におきましても革新的技術の展示発信等を行い、社会実装それに必要な社会重要性や投資の呼び込みにつがるよう取り組みを行ってまいります。2つ目の万博を活用したビジネス機会の創出についてですが、万博はビジネス交流の場でもあり、多数のビジネスミッションが来阪されます。この機会を府内企業に1社でも多く提供するべく、会期中、会場内外で様々な取り組みを進めてまいります。大阪もんにつきましては万博会場内外での活用に向けまして、これまで大阪もんデータベースを周知してまいりましたことに加えまして、春・夏・秋の大阪ウィークにおいて限定メニューを提供する等、大阪もんの魅力を発信してまいります。また夏の大阪ウィークでは大阪製ブランド認定製品や伝統工芸品を展示、そしてリボンチャレンジでは中小企業の製品等を週替わりで展示してPRしてまいります。加えて、大阪代表商品を百貨店、駅等で売り出してまいりますとともに万博来場者向けの商店街の魅力発信や各種イベントも行なってまいります。海外からのビジネスミッションに関しましては、万博会議中にMICEを開催する等誘致を進めてまいりました。また、派遣を検討される機関に向けて、市経済戦略局と共に大阪海外ビジネスワンストップ窓口を開設し、儀典室と共に情報共有を密にしながらサポートしてまいります。既に4月14日ラトビア、5月のオランダといった具体的なビジネスセミナーやビジネスミッション、府内企業との紹介等約240件の相談を受けております。それぞれのオーダーに応えるには時間との競争もあります。ビジネスチャンスをものにできるよう経済団体等関係機関と連携して対応してまいります。受け身だけでなくアウトリーチとして業界や府内企業等にニーズを聞きながら、お手元に配布しております冊子を活用して、ビジネスミッションの場面において、重点化を図りながら儀典室と連携しながらレセプション等の様々な機会を捉えまして、効率的、効果的に進めてまいります。以上です。

(志村万博推進局企画部長)

続きまして交通対策部会から美馬都市整備部長より申し上げます。

(美馬都市整備部長)

それでは交通対策のご報告をさせていただきます。9ページをご覧ください。まず

交通円滑にかかる取り組みということで3点ご報告させていただきます。万博周辺道路交通のモニタリング等を実施いたします。具体的には大阪市道路交通円滑化対策会議等を通じまして交通監視カメラ等を活用して必要な追加対策を行うこととしております。2点目は円滑な会場アクセスにつながる取り組みとしましてアクセスルートの主要駅構内の混雑状況の見える化機能を付加した eMETRO アプリや KANSAI MaaS アプリの活用を利用者に呼びかける予定でございます。その他、府市等が実施します規制を伴う道路工事にかかる調整等を行っております。(2) で一般交通の TDM の働きかけということで後ほどご説明をさせていただきます。10 ページをご覧ください。具体的に交通モニタリングによって追加対策を行う内容をお伝えしてございます。左側上段、追加対策 A をご覧ください。こちらはあらかじめ期間を決めて実施する対策でございます。万博来場者が特に多く見込まれる期間につきましては、IR 関連工事の休工日の調整等を実施いたします。下段追加対策 B をご覧ください。こちらは交通容量が予想を超過する場合の対策でございます。その場合には物流車両の来場台数を平準化するためのターミナルゲートの時間延長等様々な対策を機動的に実施する予定としてございます。右側ご覧ください。右側は道路規制を伴う工事抑制の取り組みです。国、大阪府市、堺市で連携して TDM を呼びかける機関等には交通規制を伴う工事を夜間への振り替えや占用事業者の工事抑制協力の呼びかけを実施してございます。その他、この下の段、少し見にくくなっておりますけれども、リーフレットによる協力依頼ということで、こういったリーフレットを配布しながら継続して工事抑制に努めてまいります。最後 11 ページをご覧ください。参考として万博推進局が主体となって進めている万博会期中の府市の TDM の取り組み全般についても、少しご紹介させていただきます。万博期間中の円滑な万博来場者輸送と経済活動の両立化を目指すため、企業や府民市民の皆様に対しまして、一般の交通の抑制や分散、平準化等交通混雑緩和に寄与する取り組みの協力を呼びかけでございます。また、府市職員におきましては、この右側の表ですね、万博終盤期の最混雑期には、最大7割を目標として、在宅勤務や時差出勤等の取り組みを目指していくとしています。合わせて企業団体様に対しても更なる TDM パートナー企業登録への呼びかけを行ってまいります。1 番下段でございます。その他、交通対策部会の具体的な取り組みとしても、一般交通への働きかけということで横断歩道橋での横断幕や工事現場での懸垂幕を活用しまして、TDM へ協力呼びかけを期間中継続して行うこととしてございます。交通対策部会からの報告としては以上でございます。

(志村万博推進局企画部長)

続きまして、環境部会から原田環境農林水産部長よろしくお願いします。

(原田環境農林部長)

15 ページをご覧ください。環境部会ではカーボニュートラル、ゼロエミッションモビリティ、大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの3つの柱で大阪版万博アクションプランに沿った取り組みを推進してまいりました。カーボニュートラルに関しましては、ペロブスカイト太陽電池やメタネーション技術、帯水層蓄熱技術等、万博会場内外で新技術が披露されます。ペロブスカイト太陽電池は万博会場内の西ゲート交通ターミナルのバスシェルターや、大阪ヘルスケアパビリオン、さらに会場外のうめきた広場で設置され、またパビリオンの空調には帯水層蓄熱技術が活用されます。ブルーカーボン生体系につきましては、大阪湾 MOBA リンク構想の実現に向け、藻場の保全・再生・創出を推進するとともにブルーカーボン生体系の重要性や大阪湾の取り組みについて、VR コンテンツ等を通じて万博会場内で発信してまいります。また、脱炭素行動変容アプリやカーボンフットプリントを活用した CO2 排出量の見える化によりまして、引き続き府域での府民事業者の行動変容の促進に取り組んでまいります。16 ページをご覧ください。ゼロエミッションモビリティに関しましては、バス事業者への補助事業を実施し、令和4年から6年度までの3か年でEVバス89台、FCバス1台を導入いたしました。桜島駅からのシャトルバス等に活用されます。大阪ブルー・オーシャン・ビジョン実現に向けましては、海洋プラスチックごみ対策に対して、オール大阪で取り組んでおりまして、企業・市町村と連携し、昨年度にのべ20万人以上の方に参加いただきました清掃活動を更に活性化いたしますと共に、マイボトルの利用拡大にも引き続き取り組んでまいります。さらにバイオプラスチック製の知育玩具等、大阪ヘルスケアパビリオンにて展示いたしますとともに、会場内にてバイオプラスチック樹脂の床タイルを使用いたします。今後も関係機関と連携いたしまして万博におきますカーボニュートラルの実現と環境への取り組みを促進してまいります。

2 大阪・関西万博の最新状況

(志村万博推進局企画部長)

各部会長の皆様ありがとうございました。それでは次に議題2大阪・関西万博の最新状況につきまして博覧会協会の高科副事務総長よりご説明をお願いいたします。

(高科副事務総長)

博覧会協会高科でございます。吉村知事、横山市長はじめ大阪府市の皆様にはテストランにご協力いただきまして本当にありがとうございました。私からテストランの

概要について、簡単にご説明をさせていただきます。まず、来場者数ですけれども、初めに数字的なこと申し上げますが、来場者数は4日が約4,000人、5日が約4万6,000人。6日が約4万7,000人ということで、合計約9万8,000人の方々にご来場をいただきました。参加されたパビリオン、営業店舗の数でございますけれども、海外のパビリオンが24館、103カ国地域あと2国際機関。それから国内のパビリオンは27館、全てが参加いたしました。営業店舗は60の営業店舗が参加しておりました。これ以外にもジュニアSDGsキャンプですとか、カーボンリサイクルファクトリーといったところが参加しておりました。その上で手元にお配りしております、課題と改善策というところなんですけれども、課題といたしましては、特に2日目ですけれども、入場ゲートの滞留ですとか、事前に十分な案内ができてなかったんじゃないかといったようなものですとか。あとこれは特に1日目だと思いますけれども、退場のオペレーションがかなり緩くなっていて、終わった後もかなりの方々が会場の中に残ってしまったというようなこと。あと会場内の案内、トイレ等ですね。非常に分かりづらいというような話。来場された方がトイレの近くで、すれ違ってみるとトイレと分かりづらいデザインの建物だったりするので、お客様も「あ、これ何だろう。これトイレか」なんて話もありましたので、分かりやすくする必要があるのかなと思います。また案内所もたくさんの方が来られたので、改めてそのよく聞かれる質問を整理し直して、それをFAQとして用意して本番迎えるということが必要かなと思ってございます。それからパビリオンの待機列が園路、共用の部分にはみ出して、通行の妨げになったりするといったケースが見られたところでございます。その上であのテストラン中に講じることができるものはどんどん講じようということやってまいりました。例えば入場ゲートでの警備の効果的な配置。来場者の方々に例えばQRコードを用意しといてくださいと声がけを事前にさせていただく。それをしやすい場所にいただくというようなこともありました。結果というだけでもないと思いますがスタッフが習熟されたってということもあると思うんですけれども、例えばそのまま入場完了時刻というのを各時間帯別に見てみますと、4月5日9時台に入場する方で、4月5日入場し終わったのが10時13分でした。それが4月6日は9時45分に入場完了しております。10時台も4月5日が11時半に入場完了だったのが、4月6日には10時40分に入場完了ということで、2日目と3日目比べてだいぶスムーズにその部分は改善されつつあるのかなと思います。さらにうまくいくようなことをこれから考えていかなくちゃいけないかなと思います。それからパビリオンや営業施設の待機列をきちんと整備する。営業終了のオペレーションの徹底ということで、出展者の皆様とか営業の方々にきちんと時間通り終わってくださいという声がけを改めて徹底をしました。

退場時の呼びかけも強化するということになりました。またスピーカーの音量ですが、1日目の聞こえづらいというお話がありましたのでこの分については少し音を上げる形にして、2日目だいぶあの良くなったと思います。それから暑熱対策ということで3日目とかですね、かなり暑かったのでパラソルを用意してあるところを閉じてあったんですけども、それを開いて対応するというようなこともやりました。こうした対応を会期中テストラン中にも行いましたけれども、これからさらにですね本番に向けてしっかりやらなくちゃいけないと思っています。来場者アンケートを取っておりますけれども、やっぱりリングが素晴らしいという評価が圧倒的にあったというところがございます。それ以外、色々アンケートを取って集約中ですので、また集約した形で結果をまとめたいと思っております。いずれにしてもあのテストランの経験を踏まえまして、あの万全の体制で本番お客様を迎えたいと思いますので引き続きよろしくお願いいたします。私から以上です。

(志村万博推進局企画部長)

ありがとうございました。続きまして万博推進局よりテストランの取り組みについてご説明いたします。

(彌園万博推進局長)

私の方からも資料2の方でテストランの取り組みについてご説明をさせていただきたいというふうに思います。まず資料2の1ページをご覧くださいまして、先ほど高科副事務総長からもありましたように4月4日から6日までの3日間テストランが実施されたわけでございますけれども、テストランには府市の職員も参加させていただいております、その方々を対象にアンケート調査を実施いたしました。現時点の取りまとめを資料の方に落としておりますが、円グラフにありますように4つの項目、交通アクセス、入場ゲート、パビリオン、サービスの4分野を取りまとめているところでございます。特に入場ゲートとパビリオンに関して改善を求める意見が多い結果となっているというふうに思っています。主な意見といたしまして、夢洲駅の出口が非常に混雑し、先ほどもありましたけれどもエスカレーター付近が危険であったという意見や手荷物検査の案内やオペレーションについての意見、あと予約なしで入れるパビリオンや当日予約ができるパビリオンの情報がもっと欲しかったということ、先ほどありましたけども会場内の案内版等が少なく、トイレの位置等が分かりにくかったという意見もございました。これにつきましては博覧会協会さんとも共有させていただいて、連携しながら会場運営の改善に努めていければという風に思っていま

す。次に2ページをご覧くださいまして、テストランにおけます地元大阪ヘルスケアパビリオンの運営についてでございます。こちらの方、資料の上からでございますけれども3日間通しましてのべ4万6千人の方々にご来館いただきました。その実施状況でございますけれども、リボーン体験につきましては、予約された方の待機列ができたほか、点線かつこ内にも書いていますけれども3日目には電源トラブルにより一部休止の対応を取らせていただきました。次にその同じところですが、表の右端になりますけれども未来の食と文化ゾーンでは昼食時に混雑して、かなりの待機列ができてしまったということもございました。3ページには、テストランで判明した主な課題と対応というところをまとめさせていただいております。1番上は3日に発生しました電源トラブルでございます。これは1階のフロアのコンセントの絶縁体が欠損していたことが原因でございまして、それに対しましては、開幕までに全てのフロアコンセントで対策を行うとともに、ネットワーク機器と電源を他の電源から独立させるということにしたいというふうに考えております。さらに電源トラブル発生時の来館者等への情報伝達にも課題がありましたのでトラブル発生の際の対応につきまして、放送設備の見直しやサイネージの活用等をスタッフ間の連絡体制の再構築といったことも含めまして対応を行っていきたいというふうに思います。あと未来の食ゾーンの混雑対応につきましては、待機列が発生した際のオペレーション等に課題があったということからスタッフの配置場所の見直し等で対応していきます。待機列におけますロープパーテーションの設置にもより対応を進めていききたいという風にございます。ヘルスケアパビリオンの部分につきましては現在テストランに参加された府市職員を対象にアンケート調査を実施しておりますので回答にご協力をいただければと思います。その結果も踏まえた運営の改善点につきましては開幕に向けまして改めてヘルスケアパビリオンのホームページ等でご報告させていただきたいという風に考えております。引き続き改善を進めながら1人でも多くの方にヘルスケアパビリオンに来ていただけるよう運営を行ってくように考えております。説明は以上です。

3 来場促進に向けた取組み

(志村万博推進局企画部長)

続きまして議題の3 来場促進に向けた取組みにつきまして万博推進局の彌園局長よりご説明いたします。

(彌園万博推進局長)

引き続きまして資料3の来場促進に向けた取組みについてご説明させていただきます

ます。まず1ページをご覧ください。大阪・関西万博の見所ガイドでございます。皆様方のお手元にも配布させていただいておりますけれども、とりわけ大阪の子供たちに万博に行ってみたい、体験してみたいというふうに思っただけのように万博の魅力を紹介する冊子を作成したところでございます。府内の小中高等学校に在籍する児童生徒さんに各学校を通じて配布することとしておりまして、本日各学校の方にお届けさせていただきました。なお府内にお住まいで府外の学校に通われる児童生徒の皆様方には申請いただければということで、すでにホームページでありますとかこの資料のQRコードこれを取っていただけますと申請できるというふうにしてございますので、その申請に基づきこちらの方から送付させていただくこととしております。冊子の方につきましては後ほどご確認いただければと思います。次に資料の2ページをご覧くださいというふうに思います。明日の万博情報ということで万博関連の最新情報を明日の万博情報として府市のホームページ等によりましてワンストップでお知らせしていきたいというふうに考えております。開幕日前日の4月12日午後に開設し、会期中は毎日情報を更新していきたいという風に考えております。お知らせする内容につきましては、現在博覧会協会さんと調整させていただいておりますけれども、主な内容を書かしていただいておりますけれども、パビリオンやイベント情報、当日券の販売の有無、アクセス情報といたしましては大阪メトロ中央線の混雑予測等を掲載し、報告、発表していくということを予定しております。これにあたりましては府市の様々なツールだけではなく、関係団体のメールマガジン等も活用して、幅広く発信していきたいという風に考えておりまして、ここにおられる各部の皆様やまた区役所に置かれましても、様々な広報ツールをお持ちだという風に思いますので、是非ご協力いただき、積極的に発信いただければなというふうに思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。次に最後になりますけれども、資料の3ページシティドレッシングの取り組みについてでございます。これまでも皆様方にご協力いただきながら官民一体でシティドレッシングを進めているところでございます。これは万博会期中におきましてもさらに大阪の街中の万博を盛り上げていって、来場促進につなげていきたいということから各部の皆様方におかれましては、庁舎を始め、所有の所管の施設でございます、例えば公園でありますとか集客施設等の管理施設におきましてより一層のPRツールの掲出や、公共交通機関等関係団体への掲出の働きかけ、これをお願いしたいというふうに思います。なおのぼりや横断幕といったPRツールにつきましては、当局より配布させていただきますので申し付けいただければという風に思います。引き続きの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。説明は以上です。

(志村万博推進局企画部長)

ありがとうございます。なお本日は先ほど説明のありました見所ガイドをはじめとしまして、会場内で実施される府内市町村、区役所のイベントも盛り込まれましたイベントカレンダーや大阪ウィークのプログラムをお配りさせていただいておりますので後ほどご覧ください。

4 その他

(志村万博推進局企画部長)

最後にその他といたしまして大阪関西万博の会場における府市職員の服務につきまして総務部の市道部長よりよろしくお願いいたします。

(市道総務部長)

大阪府総務部長の市道でございます。職員の服務管理について一言発言をさせていただきたいと思います。万博開幕後には、これまで以上に様々な業務で万博に関わる業務を職員が行っていくということになってくるとは思いますけれど、関係者入場証でございますとか、公費によって購入したチケットで万博会場内で入場して業務を行うということも増えてくるのが想定をされております。その際に職員の行動によって万が一にも府民から疑念を持たれてしまうようなことがあれば、府市の職員が一丸となって行っているこの万博の取り組みに水を差しすることになりかねないというふうに危惧をしております。つきましては、例えば万博会場内において業務終了後にそのまま会場内に留まって、個人的にパビリオンを観覧したりすることのないように、念のために服務管理に関する通知を行いたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。私から以上でございます。

(彌園万博推進局長)

はい。ありがとうございました。ただ今ですね府市の職員の服務管理に関しますご発言をいただいたわけでございますけれども、そういったことにつきまして念のため通知を発出ということでございますので知事市長、今の内容で進めさせていただいてよろしいでしょうか。

知事市長、ご了解いただいたということで進めていただければなという風に思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

5 質疑

5 質疑

(志村万博推進局企画部長)

それでは、ここまでご説明いただきました内容につきまして、ご質問ご意見等がございましたらご発言をお願いいたします。知事。

(知事)

総括については、最後にさせていただきたいと思います。今回テストランもありましたので、本日は高科副事務総長も来てらっしゃるので、私自身もテストランに参加して、様々な声も届いているので、改善すべき点と事実関係を確認させていただきたいと思います。僕が、一番懸念だなと思ったのは、入場ゲートでのプロセスであったり、混雑対策かなと思いました。まず前提として、さっき4月5日と4月6日の差の話があったんですけど、4月5日と4月6日はそれぞれ東ゲートだったら全部で何か所、利用したことになっているんですかね。

(高科副事務総長)

4月5日の東ゲートが20、6日が31です。

(知事)

フルで使っていたら何個になるんですか。

(高科副事務総長)

東は31がフルです。

(知事)

31がフルですか。そもそも、使っているゲートの数が5日と6日で違うということですよ。フルゲートで使ったときの時間の人数の割り当てというのは、例えば、初日は14、15万人の予約があると思います。最大で20万人が来られるということですけど、その時間当たりの、最大これだけの人が来るという数の設定をして計算をしているのか、あるいは単純に割り振っているだけなのか。

(高科副事務総長)

全く同じということではないと思いますが、ある程度は想定していて、恐らく9時、10時はそれなりの数が来られる、ほぼ同じくらいの数が来られるということを想定して開いています。

(知事)

そしたら、9時、初日の開幕日に14万から15万人くらいの予約がある中で、9時に予約している数がどのくらいで、今回のテストランの6日9時に割り振ったチケットの数はどのくらいになっているのか。

(高科副事務総長)

個別の何時に何万人というのはオープンにしていないですけども、だいたい同じくらいの数になっている。

(知事)

そしたら、4月6日、大体同じということは14万人。

（高科副事務総長）

東ゲートに9時に来られる人数とか。ですので、今回9時に来ていただいた方と本番の13日に9時台に予約を入れた方の数をほぼ同じくらいに設定してやっている。

（知事）

ということは、開幕日には14万、15万ぐらい来ます。今回のテストランでは5万人の方に割り振るようにお願いしました。数は1/3なんだけど、9時の入場にゲートにこられる数としては、14万、15万人の開幕日と今回の4月6日もほぼ一緒という理解か。

（高科副事務総長）

という形になっています。

（知事）

ということでもいいんですね。

（高科副事務総長）

はい。

（知事）

そうすると、そのことを前提として、だいたい45分ぐらい待ちということですかね。

（高科副事務総長）

9時台に入場を予約した方が入場完了したのが9時45分ということですね。ただ、何時に来られているかは分からないので、もしかしたら、早い時間に来られていて、そこまで待った方がいらっしゃったかどうかまでは、分からないんですけども。

（知事）

開幕日は14万人、15万人ですけど、MAX何万人の枠なんですか。14万人、15万人の9時のMAXの枠は、もう一杯になっています。22万人のときに来られる日も数は一緒なんですか。

（高科副事務総長）

時間当たりの予約の数はコントロールしていますので、そこは一緒になってくる。

（知事）

イメージしておけばいいのは、今回フルゲートを使ったのは2日目だったので、4月6日に使ったので、どんなに多くの人が予約したとしても、これぐらいの時間という理解でよいですかね。

（高科副事務総長）

予約したとしても、予約の数で上限を決めているので、なので今、東ゲートの13日の9時はもう予約できない状況になっていますので。そこでコントロールしていくという。

(知事)

その最大の 20 何万人でしたかね。

(高科副事務総長)

色んな交通のキャパシティを考えたときに、22 万 7 千人というのは出ていますけれども、ただそれも、それはトータルで出たり入ったりも含めてということになりますので、1 日あたりなので。当然、東ゲート 9 時で予約するのは、このくらいというのは、それぞれ上限をつけて運営をしていくということになります。

(知事)

そしたら、4 月 6 日にやったのが MAX の予約で来られる数ということでもいいんですか。

(高科副事務総長)

現時点で、その考えているなかではですね、ただ今後、運営していく中で変わっていくかとは思いますが。

(知事)

そうですね、入場した方の、入場ゲートで待つ時間が長いと、実際に声が多く届いています。やはり、改善できることは改善していくべきだと思うんですね。季節も夏になれば、4 月、5 月でも暑い日は熱中症対策というのもある必要があるし、また、声であったのが、パビリオンの予約をしているんだけど、その時間内にそもそも会場に入場できないじゃないかというような声もあったりもして、やはり、入場ゲートの通過というか、あのアクセスというか、プロセスというのが非常に重要だなと僕自身は感じています。その中でですね、改善策として、来られる人の数や状況によってはアーリーゲートオープンもやる必要があると思うが、そのあたりはどうですか。

(高科副事務総長)

会期中にそういった状況になったときに、そういったことをする可能性は考えうるということは、念頭には置いています。

(知事)

ぜひとも念頭に置いていただきたい、アーリーゲートはやってもらいたいと、僕は思います、状況に応じて。それから、特に開幕日は重要だと思っていて、今回、開幕日に 14 万人、15 万人の方が来られて、スタッフの方も慣れていない、テストランをしたぐらいでしかないという状況なので、開幕日が重要だと思うから、開幕日は 9 時からということになっていて、テープカットがありますけど、開幕日自体のアーリーゲートオープンも考えてもらいたいと思うんですけど、そのあたりはどうですか。

(高科副事務総長)

開幕日については、既に各パビリオンですとか、営業施設とか、あるいは、警備の方や案内スタッフとか、みなさんテストランも踏まえて、9 時にオープンということで、準備の最終段階に入っている状況なんですね。それは我々が直接雇用していると

ころもあれば、そうでないところもあるんですね。そういう状況の中で、今から時間の変更となるとかなり難しいんじゃないかなという感じがしているけれども、ご意見いただいていたので、協会の中で共有して相談したいと思います。

（知事）

もちろん、パビリオンの中に入れるとかではないと思いますけども、実際に、入場ゲートの状況とか、判断において、初日の開始の想定というのをよく考えていただいたらと思っています。9時に合わせて8時手前からテープカットもあると思うんですけども、状況がどうなるのかを見極めた柔軟な対応を、僕はやるべきだというふうに思っているので、プランBを考えてもらいたいと思います。プランBを考えるのであれば、やっぱりテープカットするというのは、僕もお招き、お招きというのも僕は当事者ですけども、要人なんかも来る日程とか時間の関係とかもあると思いますけど、それも大事ですけど、もちろん、ただ入場のあそこでいかに初日状況によって柔軟に対応するかっていうのは結構大事だと思っているので、ちょっとそこは考えてもらいたいなというふうに思います。開幕日のプロセスはすごく大切になってくると思います。初日14万ですから。その翌日から平日になってくると思うので、そこは、アーリーゲートオープンについてちょっと考えてもらいたいと思います。

（高科副事務総長）

先ほど申し上げたように、今、最終準備の段階に入っている中で難しい面はいろいろあると思うんですけども、今ご意見いただいているので、協会の中で共有して、どうするのかというのを相談したいと思います。

（知事）

もう1つが、入場していただくにあたっての、スムーズな入場を実現するにあたってシンプルな統一メッセージを発信した方が良いと思うんですね。例えば、入場のQRコードはスクショであったり、紙で事前に準備しておくとかスムーズにいきますよということであったり、あるいは、手荷物検査も空港と同じようなものがありますよとか、あるいは、ビン・缶はNGであるといったことを知らなかったということもありますので、ビン・缶はNGですよとか、何かこうところを、来ていただくお客さんの方にも事前に知っておいていただければ、スムーズな入場が実現しますよということを、これを共有できるだけ共有して、開幕前に拡散というかですね、できるだけシンプルな形で拡散しておくのも1つの方法なんだろうと思います。その中で、並んでいる方の列ができるとします、その列に対して、スタッフがどういうふうに案内するのか、その場でどう情報提供するのかという現場対応、現場での長蛇の列になっている方に対してのスタッフからの情報発信とか、QRコードをスクショしてくださいとか、そういった情報発信と併せてですね、案内をしていく、スムーズに入場していただくためのその場での情報提供と、事前の情報提供と、これをセットで強化した方がいいんじゃないかなと感じましたので、そこは大阪府市と協議しながら、これは実現が難しいものじゃないと思いますから、そこをやってもらいたいなと思います。

（高科副事務総長）

我々も、おっしゃるとおり、その部分の情報発信が非常に大事だと思っていますので、また、よく大阪府市と相談しながら、どういったことができるか考えていきたいと思っています。

(知事)

シンプルで分かりやすく、というのがおそらくキーワードになってくるかなと思いますので、お願いします。それから、トイレの場所が分かりにくい、パビリオンの場所が分かりにくいと、結構、声としてあったので、地図、マップ、ネットでも見れるわけですけど、マップを配架する棚みたいなものを、案内所も、もちろん大きいのがどんとあるわけですけど、複数箇所配架する、置くだけのであれば簡単にできると思いますが、そういったものはやらないんですかね。

(高科副事務総長)

今ですね、案内所等でちゃんとしたマップを 200 円で販売してしまして、かなり皆さんお買い上げいただいているみたいだったんですけども、テストラン中はテストランでこんなところが空いていますよというマップを配布していたということで、そのご指摘も踏まえて、もう少しやり方がどうかというのは考えたいと思いますけど。

(知事)

本当にシンプルな、見開きのよくあるじゃないですか、いろんなショッピングモールに行ったり、大きな施設にいったときには、こういう大きなもの開いてみるようなもの、ああいうのがあったほうが、トイレの場所とか、どこにパビリオンがあるとか、自分が大体どの辺にいるのかとかが分かりやすいと思うので、一枚物の見開きで広げたら大きなものがいいと思うんですけど、そういうのは用意してないんですか。

(高科副事務総長)

事前にプリントアウトして持ってこられるものは用意してるんですけども、それは会場の中では配ってはいないという状況ですね。

(知事)

プリントアウトして持ってきてくださいというのは、事前準備の良い人はプリントアウトして持ってくると思うんですけど、その場に来て、今回テストランをしたわけで、テストランした人の声の中から、トイレの場所がどこにあるのか分かりにくいねと、また、トイレもデザイン性の高いものもあるのかもしれませんが、トイレの数というよりは場所が分かりにくいねという、あるいは、パビリオンの場所が分かりにくいね、しかも、円になっているので東西南北が分かりにくいというのがあると思うので、そういった人に、事前に紙でプリントアウトしてきてよ、というのはお客様目線でないと思うし、やってくれる人方もいるし、ネットが繋がっている方であればよいが、高齢の方もいらっしゃると思いますので、実際テストランであった以上ですね、それぞれ、ウォーターサーバーもいろんなところに設置していると聞いているので、その近くに見開きのマップを無料でどうぞみたいなものを、複数箇所おくと、親切な分かりやすい案内になると思うんですけど、検討してもらえないですか。

(高科副事務総長)

これは、また、検討させていただきます。

(知事)

よろしくお願いします。

(志村万博推進局企画部長)

他、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは最後に、本部長、本部長代行にまとめていただきたいと思います。まず、吉村本部長、よろしくお願いします。

【まとめ】

(知事)

皆さまお疲れ様です。いよいよあと5日で開幕となりました。それぞれの部局長の皆さまにおかれましては、この間本当に準備していただきましてありがとうございます。皆さまと協力をしながら、素晴らしい万博を実現したいと思います。

この大阪で行われる55年ぶりの万博ですから、しっかり協力して、多くの人がこの万博素晴らしいね、良かったねと思ってもらえるものを実現したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

この間、様々な業務をしながら、この万博を実現する上ですね、様々な苦労もあったと思いますけど、今日この日をいよいよ迎えるということで、改めて部局長の皆さんと、博覧会協会の皆さまに感謝を申し上げます。

まず、今日発表がありましたこの「見どころガイド」ということで、小中学生・高校生に配るというものは、しっかりと事前に情報をお伝えするのが大事だと思いますので、ぜひやってもらいたいと思います。

それから、「明日の万博情報」ということで、発信することということです、これは必要だと思います。

万博は翌日のナショナルデーとか翌日のイベントであったり、日々違うことが行われますので、明日がこんなことが行われるのかっていうのをリアルにキャッチすることによって、その機会が増えることによって、じゃあ行ってみたいなということに繋がると思いますから、各部局が持つ広報媒体であったり、関係団体とのネットワークを通じて、積極的に「明日の万博情報」というものを発信してもらえたらと思います。

それから、街中でのシティドレッシングも非常に重要だと思っていますので、更に進める必要があると思いますから、ここもよろしくお願いいたします。

いよいよ万博が開幕になります。府市一体となって、協力して、この大阪の地でやる万博を成功させたいと思いますので、よろしくお願いいたします。僕からは以上です。

(志村万博推進局企画部長)

つづきまして、横山本部長代行、よろしくお願いいたします。

(市長)

まず、この間の取り組みですね、施工環境の改善やインフラ整備の前倒し等含めて、一丸となって取り組んできたことを、府市の関係者の皆さま、今日、高科副事務総長もお越しですが、協会の皆さまにも本当に感謝を上げたい。

いよいよ本番となってきます。来場される方には安心して万博を楽しんでいただくというのが一番大事で、大阪市域における会場までの円滑な交通アクセスの確保であったりですね、会場内外の連携で災害等の万一の事態に備えていく、医療救護体制の構築といった形で関係機関で協力していくことが非常に重要だと思います。

もう1つ、1点がですね、知事からもありましたし、今日資料2という形で、職員のアンケートも取りまとめていただいておりますので、これ非常に参考になるところかと思っています。テストランの課題は職員もそうですが、SNSや利用された方からお声

が寄せられておりますので、いよいよ開幕間近となっておりますが、この点はしっかり克服できるように、府市、または協会の皆さまとも連携しながら取り組めたらと思います。

知事がおっしゃられた、特に入場ゲートのところは、ちょっと心配でして、テストランの実施概要にも書いていただいておりますが、やっぱり駅から会場の出口が非常に混雑していて、エスカレーター付近が危険であったとお声も寄せられておりますので、このあたり解決できるようにお願いしたいと思いますし、SNS で、例えば携帯電話を活用して、会場内で色々パビリオン予約等するけど、携帯電話の充電がなくなったらゾッとしますというお声が寄せられたり、ちょっと私は当日やってないのですが、システムのログインが都度ログインの ID とパスワードを入れないといけないのが非常に不便ですというお声が寄せられたり、携帯電話というデバイスを使ってやる以上、利用者の方が非常にスムーズにご利用できるように、万一電源が落ちた時に、夢洲駅にはどうやら充電用の装備があるらしいんですが、このあたりを会場内でどうするか、また、もしそういう施設があるのであれば、先ほど知事がおっしゃられたように、マップ等で分かりやすく提示する等、ケアが必要なのかと感じました。

最後 2 点目ですが、重要なのは、事故等が発生しないように尽力していくことが非常に重要だと思います。

楽しんでもらえるコンテンツとしては、私は、本当にそろっていると思いますので、あとは会場内外でとにかく事故等が発生しないように、そして万が一発生してしまった場合でも冷静にするように、関係機関挙げて対応していきたいと思います。

素晴らしいコンテンツはそろっています。だからこそ安心してご利用いただけるよう、関係者一丸となって、引き続き開幕を迎えていきたいと思います。

ここで生み出されたレガシーが、50 年、100 年続いていく非常に重要なレガシーになっていくと思います。

府市、協会のみなさん、本当に今でも日頃の業務も含めて大変な中だと思いますが、この半年間が大阪にとって私は非常に重要なターニングポイントになると思いますので、どうかみなさん一丸となって乗り越えていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(志村万博推進局企画部長)

ありがとうございます。それでは、2025 年大阪・関西万博推進本部第 13 回会議を閉会いたします。ありがとうございました。

以上